

調査項目解説（畜産物）

「商品」 一般的な名称や品種名等を記載してください。特定のブランド名等がある場合は（ ）で記載してください。

「認証種類」 JGAP、GLOBALG. A. P 及び GAP 取得チャレンジシステムの別を記載してください（複数の認証等を取得している場合は複数の認証等を記載してください）。申請中又は申請の予定がある場合は、認証種類の後に（〇年〇月申請（申請予定））と記載してください。

「推奨事項」 持続可能性に配慮した畜産物の調達基準の5に基づき該当するものがあれば記載してください。（記入は、下線部のみで構いません。）

- ・ 有機畜産：有機畜産により生産された畜産物
- ・ 農場 HACCP：農場 HACCP の下で生産された畜産物
- ・ エコフィード：エコフィードを用いて生産された畜産物
- ・ 放牧畜産：放牧畜産実践農場で生産された畜産物
- ・ 農福連携：障がい者が主体的に携わって生産された畜産物

（注）各項目の詳細は、大会組織委員会が策定した「持続可能性に配慮した畜産物の調達基準 解説」をご参照ください。

「供給元生産者等」 商品の生産者を記載してください。例えば「JA〇〇」や「〇〇ファーム」などの他、個人の生産者の方は「農水太郎」などの個人名を記載してください。グループ会社等の場合は、認証を取得している農場毎に記載してください。

「生産地」 生産している農場の所在地を市町村名まで記載してください。複数の市町村で生産されている場合は複数の市町村名を記載してください。

「年間出荷量」 上記「商品」の1年間に生産される量（頭羽数、個数、トンなど）を記載してください。

「開催時期の供給可能量」 東京大会の期間中（2020年7月中旬～9月中旬）に東京大会に向けて供給可能な（仕向けられる）出荷量（頭羽数、個数、kgなど）を記載してください。

「受注単位」 受注可能となる最低量（ロット）を記載してください。例）「〇〇kg」、「〇〇箱（〇〇kg入り）」、「〇〇パック（1パック〇個入り）」。

「対応可能な保存・加工方法等」 チルド、冷凍、カットのうち、独自に対応可能なものには〇をつけてください。また、この他に対応可能な加工方法や対応可能なカットの種類などの追加の情報があれば、備考に記載してください。

「送料」 供給価格に加え別途送料が発生する場合は、最低量（ロット）発送時の生産地から東京までの概ねの送料を記載してください。「主な出荷先」 主な出荷先（食肉市場等）を記載してください。直接販売を行っている場合は、（直接販売可）と記載してください。

「問い合わせ先」 飲食提供事業者等が相談、発注する際の連絡先を記載してください。問い合わせ部署、担当者名、電話番号などを記載してください。

「備考」 上記以外に留意点や商品の特徴などPR事項等があれば記載してください。例）雌のみを出荷、飼料用米を給与など。

また、通常の販売価格（庭先価格・消費税込）を参考情報として記載ください。それ以外の価格を記載する場合はカッコ書きで、解説をしてください（卸売価格等）。